

令和4年6月16日

研究に関する情報公開および研究協力をお願い

助産学専攻科を修了した1期生から6期生の皆様へ

茨城県立医療大学助産学専攻科では下記の通り研究を実施いたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

茨城県立医療大学 倫理委員会(承認番号:986)

研究課題名	助産学専攻科における助産学基礎教育に関する研究			
研究1	臨床推論アプローチの実践と評価			
研究2	チーム基盤型学習の実践と評価			
研究3	シミュレーション教育の実践と評価；装着型シミュレータを採用して			
研究4	プリンシパル・エージェンシー理論を基盤とした多職種連携教育の実践と評価			
研究組織	研究責任者	茨城県立医療大学助産学専攻科	教 授	島田 智織
	研究分担者	茨城県立医療大学助産学専攻科	准 教 授	長岡由紀子
		茨城県立医療大学助産学専攻科	助 教	松田 英子
		茨城県立医療大学助産学専攻科	学外共同研究員	西出 弘美
研究目的	在学中、多くの困難に出会う中で助産師としての成長を支えたのは、ともに学ぶ仲間存在でした。そして、臨床推論（Clinical Reasoning: CL）、チーム基盤型学習法（Team based Learning: TBL）、シミュレーション教育（Simulation based Education: SBE）、多職種連携教育（Interprofessional education: IPE）といった仕組みも成長に欠かせないものでした。本研究では、皆様の「学び合い」を支えたこれら学習媒介の効果を検証します。 助産学基礎教育は、少人数教育が通常ですので、同一カリキュラム下での50名を超える学生を対象とした研究成果は後に続く後輩たちのカリキュラム作りに役立つと考えます。 <u>目的</u>: 学生の各種満足度調査結果、授業内提出記録によって、それぞれの学習媒介（CL, TBL, SBE, IPE）がどのような効果をもたらしたかを検証する。			
研究期間	2022年4月01日より2024年3月31日			
研究方法	皆様が在学中に提出した提出記録を検証させていただきます。具体的な記録は下記の通りです。 - 調査 - 科目別満足度調査 - 総合満足度調査 - 授業内提出物 - ディスカッションノート【すべての当該科目】 - 助産診断記録一式【助産診断・技術Ⅰ】 - ピア評価【助産診断・技術Ⅱ】 - ワークブック【助産マネジメント実習】			
倫理的配慮	各種満足度調査については、すでに、個人を特定できない形式で保存されています。研究者が記載した個人を特定することはできません。			

	• 学会発表および投稿に際して、個人が特定されることはありません。 • 今回の研究に際して、データ使用を希望しない方は9月末までにお申し出ください。教学IRセンターに依頼し、データを除外いたします。
その他	• 成果物（発表論文等）を希望される方には、別冊を進呈いたします。随時、専攻科ホームページで情報を提供いたしますので、ご確認ください。
お問い合わせ	研究に関するご質問は下記までお尋ねください。 <連絡先> 研究者責任者 島田 智織 茨城県立医療大学助産学専攻科 〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2 TEL 029-840-2131（直） E-mail shimadac@ipu.ac.jp